

安心でおいしい

水のために…



第1回

上水道の施設整備と料金の改定について



安全・安心なおいしい水を各家庭にお届けするために次の対策を行います。

- 地下水の汚染対策として、現在の「塩素殺菌」を「ろ過処理」方式にするため、**浄化施設**を造ります。
- 地震で水源が汚染などをしても、12時間は配水ができる対策として、**配水池**を造ります。
- 汚染などで町内の水道を一度に全部ストップさせないための対策として、町内を**3つのブロック**に分割して、危険分散をします。
- 人口に伴う需要増や老朽水源を補うための水源対策として**新規水源**を設けます。

以上のような対策には、多額の費用がかかりますので、**水道料金の改定**を町議会に提案させていただきます。(継続審議)

● 計画の概要

今回実施される事業は、上水道第6次拡張事業で、町営水道が、新たなステップとして「量」の確保はもとより「質」の充実を図ることによって多様化する住民サービスに答えるものです。

一 将来必要な「水の量」の確保

将来的に水源不足が予想されるため、恵久美地区内に新規水源を設け、供給量の「安定」化を図ります。

二 町内を3つのブロックに分割

危険分散と配水の「安定」化を図るために町内給水区域を西古泉ブロック、徳丸ブロック、恵久美ブロックの三つに分割します。各ブロックは相互に連結され、非常時の影響を最小化します。

三 浄化施設の充実による「質」の確保

ブロックごとに、現在の塩素滅菌だけの水質確保を見直し、環境悪化の影響を受ける恐れがある地下水を浄化し、水質の安全を図り、「安心」して水をお届けする「ろ過処理」を導入した浄化施設を整備します。「ろ過処理」設備としては、経済的で信頼性が高く維持管理の容易な「膜ろ過」設備を選定しました。

膜ろ過の必要性

クリプトスポリジウム(耐塩素性病原性微生物)といった感染症をもたらす微生物の発生を防ぐため、「ろ過処理」設備は経済的に安価で信頼性の高い「膜ろ過」設備とします。